

## 講演会『地域を変える IT 活用』、仙台で開催

主催：一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)、東北地域情報サービス産業懇談会(TISA)  
後援：東北経済産業局、宮城県、仙台市、公益財団法人みやぎ産業振興機構



平成 24 年 7 月 18 日、ハーネス仙台で講演会『地域を変える IT 活用』が参加者 100 名で開催された。本講演会は、地域連携推進会議（議長：岡本晋 JISA 副会長）により、①東北の復興に向けた IT 活用を考える、②地域 IT ビジネスにおける「地産地消」「自立自走」精神の浸透を図る、③地域連携推進事業における地域の具体的な取組への理解と活動促進を図る、④魅力ある地域情報サービス産業の確立等を目的に宮城県仙台市で開催された。

冒頭、主催者を代表し、岡本 JISA 副会長から「業界構造改革の中で地域ビジネスを捉え、地産地消を目指していきたい」、石塚 MISA 会長から「開発からサービス提供型へという大きな変化にどう対応し、東北の復興に向けて取り組んでいきたい」と各々挨拶があった。

坂村教授による講演「IT による社会づくりの未来」では、社会は「制度＋技術」で創られ制度設計が重要である、地域での産業クラスター等は目的を明確にしてターゲットを絞ることが重要である、地域間でチーム（ネットワーク）を組むことが重要である、世界は「オープンイノベーションの時代」にありどんなにいい技術や知財があっても一人では何も実現できない、未来の IT インフラとは何かを考える必要がある等、多くの示唆に富んだお話しがあった。また、復興に向けて社会づくりに関する「提案コンテスト」等の手法も取り入れ、知恵を集めた取組を行うこともアイデアであるとされた。

河野 JISA 副会長の講演「韓国の IT 活用最前線」は、韓国経済と IT 利活用が進んだ理由、IT が変えた政治・行政・医療・教育・空港・地域について、今後の地域における IT 活用推進に向けて参考となる事例が紹介された。

JISA 地域連携推進会議からは、関西情報センターの深野理事から「金融機関と連携した中小企業の IT ニーズ掘り起こしの実践」、熊本県情産協の豊田副会長から「県や市など自治体への提言活動」及び「医療・工業・IT の情報連携機能の活用」、宮城県情産協の荒井副会長から「グループアライアンス事業の推進」等について発表があった。

参加者からは、ITによる社会づくりは技術だけではなく制度が重要であることを認識、社会のIT化の推進にはトップのコミットメントが必要、日本のITにはまだ多くの課題がある、世界では知恵とアイデアによる様々な取組を行っている等、今後の業務や地域IT化において参考になることが多かったと意見が寄せられた。また、各地域における取組についても今後とも期待し、自らも参加していきたいという意見も多かった。

◆◆◆ プログラム ◆◆◆	
1. あいさつ	一般社団法人情報サービス産業協会 副会長 岡本 晋 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会会長 兼 東北地域情報サービス産業懇談会会長 石塚卓美
2. 基調講演「ITによる社会づくりの未来」	東京大学大学院情報学環教授・工学博士 YRPユビキタス・ネットワーク研究所所長 坂村健 氏
3. 講演「韓国のIT活用最前線」	一般社団法人情報サービス産業協会 副会長・専務理事 河野憲裕
4. 発表「地域を変えるIT―地域連携事業からの事例―」	
(1) 中小企業のIT化を推進する「関西IT利活用促進連絡会議」の活動	一般財団法人関西情報センター 理事 深野二郎
(2) 熊本の変革と成長を目指すソフト企業群、くまもと情産協の挑戦	一般社団法人熊本県情報サービス産業協会 副会長 豊田駿一
(3) 東北の復興と地域社会の成長と発展に向けた課題	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 副会長 荒井秀和
5. まとめ	一般社団法人情報サービス産業協会 地域連携推進会議 副議長 鴨井 功

※報告書「地域を変える情報サービス産業を目指して-平成23年度地域活性化事業のまとめ-」概要  
<http://www.jisa.or.jp/report/2011/23-J012.pdf>

(手計)